



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤ハム株式会社

コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	108,422	3.8	490	△51.7	547	△32.9	259	△15.0
25年3月期第1四半期	104,475	△3.8	1,014	259.7	816	30.1	305	6.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,925百万円 (937.6%) 25年3月期第1四半期 185百万円 (△33.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.19	1.19
25年3月期第1四半期	1.32	1.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	205,667	115,434	55.8
25年3月期	205,350	116,841	56.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 114,779百万円 25年3月期 116,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	218,000	2.4	2,100	6.5	2,300	42.5	1,200	132.9	5.55
通期	456,000	3.9	7,000	23.7	8,000	42.1	5,200	25.4	24.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無



## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期第1四半期	108,422	490	547	259	1.19
平成25年3月期第1四半期	104,475	1,014	816	305	1.32
増減率	3.8%	△51.7%	△32.9%	△15.0%	△9.4%

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により円安・株高が進行するとともに、輸出産業を中心に企業収益の改善傾向が顕著となるなど、実体経済の好循環に向けた期待が膨らんできましたが、一方では新興国をはじめとする海外経済の減速による下振れリスクが残るなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、個人消費全体としては明るさも見られる中で、食料品等の日常消費については未だ本格回復には至っておらず、円安等による原材料価格の高騰や電力・ガス等のエネルギーコストの上昇など、製造コストの上昇圧力が高まる中で企業間の販売競争が激化する極めて厳しい事業環境となりました。

このような状況の下、当社グループでは、中期経営計画「CNV2015」の中間年度となる3年目となり、当年度の基本方針として「成長戦略へ軸足を移す」「業務改革のスピードを上げ現場力を更に強化する」「ワークライフバランスの充実を図り人材力を強化する」「企業ブランドの更なる強化」の4つを掲げ、全社一丸となって着実且つスピード感を持って具体策を実行していくこととしております。成長戦略の一施策として本年3月に中食・外食チャネルへの売上拡大に向けて組織再編による体制の強化を図るとともに、茨城県において新工場の建設を進めており、秋には竣工の予定となっております。

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、ハム・ソーセージは主力のアルトバイエルンを中心に「腸詰ウインナー」の売上が好調に推移して前年同期に比べて2.2%増、調理加工食品ほかは「ピザ・スナック類」が売上を伸ばしたものの、外食産業向けの「チキン商品」が大きく売上を減らしたことにより前年同期に比べて6.0%減、また食肉は国内相場が総じて前年を上回る水準で推移したことや鶏肉の販売量が増加したことにより前年同期に比べて8.7%増となった結果、売上高全体としては前年同期より39億4千7百万円増加して1,084億2千2百万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益は、売上高が増加した一方で、原材料価格の高騰等のコストアップによる利益率の低下が影響し、前年同期に比べて7億9千2百万円減少して187億8千万円（前年同期比4.0%減）となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの、前年同期に比べて5億2千4百万円減少して4億9千万円（前年同期比51.7%減）となりました。また経常利益につきましては、前年同期より2億6千8百万円減少して5億4千7百万円（前年同期比32.9%減）、四半期純利益は、前年同期より4千5百万円減少して2億5千9百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、外部売上高567億9千3百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益6億3千1百万円（前年同期比39.1%減）、食肉事業本部は、外部売上高515億9千万円（前年同期比8.3%増）、営業損失1億6百万円（前年同期は2千6百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

[資産、負債及び純資産の状況]

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億1千6百万円増加し、2,056億6千7百万円となりました。これは主に、たな卸資産及び売掛金の増加と有価証券（短期運用預金等）の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて17億2千3百万円増加し、902億3千3百万円となりました。これは主に、未払金の増加と賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億6百万円減少し、1,154億3千4百万円となりました。これは主に、自己株式の取得、配当金の支払による利益剰余金の減少並びに為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社は、当社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,468	11,289
受取手形及び売掛金	48,838	52,622
有価証券	19,000	9,500
商品及び製品	25,521	30,050
仕掛品	364	497
原材料及び貯蔵品	10,186	10,414
その他	4,789	4,920
貸倒引当金	△64	△69
流動資産合計	120,105	119,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,312	16,145
機械装置及び運搬具(純額)	10,781	10,592
工具、器具及び備品(純額)	679	695
土地	16,092	16,099
リース資産(純額)	1,260	1,249
その他(純額)	430	937
有形固定資産合計	45,557	45,720
無形固定資産		
その他	1,563	1,483
無形固定資産合計	1,563	1,483
投資その他の資産		
投資有価証券	25,335	26,588
その他	13,537	13,264
貸倒引当金	△747	△615
投資その他の資産合計	38,125	39,238
固定資産合計	85,245	86,441
資産合計	205,350	205,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,328	38,504
短期借入金	340	232
未払法人税等	1,581	315
賞与引当金	2,914	988
資産除去債務	54	25
その他	14,463	19,343
流動負債合計	57,683	59,410
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,569	16,828
退職給付引当金	207	134
債務保証損失引当金	775	677
資産除去債務	865	874
その他	2,408	2,308
固定負債合計	30,826	30,822
負債合計	88,509	90,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,047	30,047
利益剰余金	64,563	63,713
自己株式	△9,974	△12,178
株主資本合計	113,064	110,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,551	4,049
繰延ヘッジ損益	360	149
為替換算調整勘定	△787	570
その他の包括利益累計額合計	3,124	4,769
新株予約権	75	67
少数株主持分	576	587
純資産合計	116,841	115,434
負債純資産合計	205,350	205,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	104,475	108,422
売上原価	84,902	89,642
売上総利益	19,572	18,780
販売費及び一般管理費	18,557	18,289
営業利益	1,014	490
営業外収益		
受取利息	25	29
受取配当金	165	128
為替差益	6	155
受取賃貸料	115	117
その他	150	141
営業外収益合計	463	571
営業外費用		
支払利息	76	60
不動産賃貸費用	45	39
持分法による投資損失	479	384
その他	61	29
営業外費用合計	662	514
経常利益	816	547
特別利益		
固定資産売却益	9	2
投資有価証券売却益	33	—
債務保証損失引当金戻入額	—	98
その他	4	—
特別利益合計	47	100
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	32	25
投資有価証券評価損	30	—
事業整理損	—	22
事業構造改革費用	59	59
その他	2	0
特別損失合計	127	109
税金等調整前四半期純利益	736	538
法人税等	416	261
少数株主損益調整前四半期純利益	320	277
少数株主利益	15	18
四半期純利益	305	259



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△428	500
繰延ヘッジ損益	△32	△211
為替換算調整勘定	248	411
持分法適用会社に対する持分相当額	78	947
その他の包括利益合計	△134	1,647
四半期包括利益	185	1,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	1,904
少数株主に係る四半期包括利益	14	21

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,699	47,643	104,343	131	104,475	—	104,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	833	20,567	21,400	282	21,683	△21,683	—
計	57,532	68,210	125,743	414	126,158	△21,683	104,475
セグメント利益 又は損失(△)	1,036	△26	1,010	8	1,018	△3	1,014

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,793	51,590	108,384	38	108,422	—	108,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	935	20,054	20,990	67	21,057	△21,057	—
計	57,728	71,645	129,374	106	129,480	△21,057	108,422
セグメント利益 又は損失(△)	631	△106	525	11	536	△45	490

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年4月1日付で、伊藤ハムミート販売東(株)の一部組織を、当社フードサービス営業本部に移管いたしました。この組織再編に伴って、「食肉事業本部」に含めていた当該組織を「加工食品事業本部」に区分変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

## 【関連情報】

商品分類別の売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減	
	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日		(%)
ハム・ソーセージ	27,545	28,143	597	2.2
食 肉	54,086	58,804	4,717	8.7
調理加工食品ほか	22,842	21,474	△1,368	△6.0
合 計	104,475	108,422	3,947	3.8